八月十二日夕刊

休日　日曜　祭日
一ヶ月　廿五錢　一部二錢
郵稅一ヶ月五錢
廣告料　一行四〇錢
場所指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　半谷政喜
發行所　福島縣平町大町五　新いわき新聞社

濱通りから推された多額議員の金成候補

政黨政派を超越しての援助　向背は中西部の同情如何

多額納税議員の選擧は剩すところ一ヶ月に迫り濱通りから立候補した金成通氏の後援者は愈よ猛烈なる運動を開始し昨十日は石城郡勿來町の大平睦四郎氏その他双葉相馬三郡の有志者は政黨政派を超越して結束し金成候補の爲め十五名の代表を上げて左記推薦状を縣下の同志に發し鈴木代議士、木村前代議士等目下會津方部の諸有志に援助を求むべく奔走してゐるが僅々二十六名の互選資格者に過ぎない濱通りは中西部の援助如何によるもので其の結果を非常に興味視されてゐる

肅啓酷暑の砌尊堂益御清福の段慶賀の至りに奉存候、陳者來る九月十日執行の多額納税議員選擧に際し何人を推薦すべきかに付深甚なる御高慮を拂はれ居り候御事に拜察仕候今や內外多事多難にして國家の現狀實に深憂に堪へざる非常時の場合に有之候得ば是非共政治經濟兩方面に卓越せる識見と抱負とを有する偉材を選出し以て時局醫救の最善を盡させ候樣致度と存じ吾人は、玆に金成通氏を最適任と認め候補者に推薦致候間何卒貴下の御同情を仰ぎ同氏をして當選せしめられ候樣精々御援助相願度乍潛越此段御依頼申上候　敬具

向後の天候次第で稻作の增收疑なし

石城地方は近年稀なる好成育　出初めた穗頭の豊かさ

石城郡地方は近年にない今年の暑氣に水稻成績が稀なる優良で俗に云ふ日照りに不作なしを其のまゝ余程の增收だらうと豫想されてゐるが當年の發育經過は分ゲッ中の初期に於て曇雨が多く比較的日照時は少なかつたが平均氣溫が高いので割合に曇りと雨の影響もなく其の後俄かに暑氣に憂慮された稻熱病の如きも打續く酷暑の爲め病菌は殆んど死滅して分ゲッ草丈け共に申分のない目下の良好なる成育狀態を見るに至つたが昨今弗々出穗し初めて磐崎村その他平植方部の穗頭の豐かさは實に見事なもので向後氣遺はれるのは厄日の荒れのみだが其れ迄の天候が順調であるなら二割位の增收疑ひなしと云はれてゐる、

不況がそうさせた哀れな夫婦の心中

無心の子供を縊るに忍びず　祖父の許に行かしめて

石城郡湯本町の笠井四居住千葉市西院內二九九生れ無職佐藤今朝治(三九)は去る九日午前七時頃同郡內鄉村の綴字板國杉林內で縊死し居るを村內の親族齋藤濱次郎が發見平署の撿視を受けたが今朝治は妻いよと共に前記湯本に木炭販賣と煙草小賣を營んでゐたが不況の爲め店を閉ぢて各地を轉々し本月四月千葉市に至り町內の旅館に女中奉公する妻の稼ぎで暮してゐたが先妻の遺見ふく(九ツ)との三人暮しが容易でなく妻と共に親子心中を覺悟しカルモチンまで用意せるもどうせ死ぬなら先妻の墓前にしやうと云ふことで去七日この世の名殘りに子供を伴ひ淺草に一泊しての東京見物後目的地の前記に至り妻と共に死を決心したが無心の子供を縊るに忍びず墓を歸除して歸るからとふくを先妻の父濱次郎方に行かしめ夫妻共々縊死を圖つたものであるが妻いよは失敗して生き殘つてゐると、

訓盲院生の社會奉仕

磐城訓盲院では夏季休暇中の去る一日から向ふ三十日間毎日午前八時から同十時まで上級生六名で鍼灸マッサージを一般に施療してゐるが毎日十名以上つゝの來院で成績良好である、

榮轉の三氏は十五日出發

縣下警察官の異動は愈よ發表されたが喜多方署長から平署長に榮轉の小田部秀雄氏は鄉里茨城に墓參を終へて來る十七日頃着任の由で平署から警部に昇進福島署次席に榮轉せる佐久間警部補及び同じく警部に進んで縣衛生課へ轉任の長澤警部補並に縣高等課へ移る橋本警部補は何れも來る十五日午前八時三分平驛發で任地に向ふ豫定であると

商業生の氷水賣り

舊盆三日間三人で

平商業學校の五年生渡邊三千雄、同根本睦美、同四年生佐藤慶三郎君の三君は暑中休みを利用して實務を見習ふ生きた體驗を受け樣との申合せの結果健氣にも來る十四、五の舊三日間鄉里內鄉村國の山神社內に盆踊のあるのを好機に共同を以て晝夜氷水店を營まうと云ふので今十一日平署に至り許可を受けて歸つたが利益金は不況の折柄父兄の手助けにする心組であると

戀に破れて青年の死

小名濱町にて

石城郡小名濱町の橫町料理店丹野寬平次男正次(二〇)は去る十日午後三時頃自宅二階で青酸加里を嚥下し自殺を企て苦悶し居るを家人が發見手當を加へたが遂に絕命し平署の撿視を受けた原因は　戀の結果であると

前借踏倒

深川で取押らる

信夫郡飯坂町生れ富田秀吉娘きくの(二四)を平町字南町五一料理店金須德次郎方に前借三百五十圓で酌婦に住み込ませ本年四月一日兩人共謀で右前借を踏倒して逃走後東京深川區の料理店丸木に奉公してゐる處を平署に探知逮捕取調の上今十一日送局された、

臨海學校通信(七)

四倉の平第一校

プレーグランドボールは五年の方で十八對五で白が勝ちました、紅はバッターが振はないのです、五時半歸舍、六時半樂しい夕飯の行進曲、食べる時はとても賑やかです、今日の御馳走はやはり鮪でした明日はライスカレーの御馳走なそうで今から舌をならしてゐます

×　×

七時のニュースで遙かロスアンゼルスで祖國の爲めに戰ひ輝く日章旗を碧空高く上げてくれた我等の南部戰士の祝福のため茶話會を開きました、上川先生の開會の辭、皆この吉報に大はしやぎです、次いで君が代合唱、暗をついてそう重なメロデーが響く水竹先生のあざやかな指揮振り、それから菓子を頂きめい々のかくし藝を發表することになりました、井上君、佐久間君、宇佐美君、石坂君などはいつもの事ながら大かつさいでした、

八時閉會、此の間修繕したばかりの蚊張は又やぶして終つたので先生が汗だくで修繕して居ります、

八時半皆安らかな夢に入りました(以上八月五日)

×　×

朝は風が少しふいてゐたが八時頃は日がかん〳〵とてつてよいてんきであつた

九時波立藥師、出發先頭がしるしのついた旗をもつて元氣よく行つた、濱石がやけて足がはちきれるほど暑かつた、波立藥師についてから、禮をしてから、お堂のぐるりをまはつたり繪馬を見たりしてあそんだそれからしばらくたつて、わにがふちへ行つた、底のふかいことは底なしといはれるほどだといふことをきいたので僕はたまげた、それから少し立つと中島寫眞屋さんが來た、わにがふちをおりていそのところでうつしてもらつた、其から暑い濱石の上をあるつてかへつて來た、ひる飯をたべて水あびに行つた、そこで又寫眞をとつた、もう時間がないので歸つて湯にはいつた夕飯をたべてからキヤチボールをして遊んだ(以上)

八月六日安齋憲次郎君から

吉田校長から小樽通信(一)

平町の某氏へ

平を出發してから丁度一ヶ月になりました、此頃漸く過去を振り返つて見る氣持になります、北海道は日中は相當に暑いですが朝夕はズット氣溫が下るので非常に暮し良い、夏だけしか知らぬ僕には北海道は進んでも來る可き良き土地だと思ひます寒はどんなものですか、一と月小樽で暮しは致しましたもの丶學校と云ふ一つの殼の內に終始して殆んど街の狀況とか從つてそこに漂つてる浮き上つてる人情とか色彩等には全くの素人に過ぎませぬですから今少し立入つた貴兄に話しかける材料も只今の處殆んどないと云ふてよろしいが然し多少さも感じた二、三を御通知致します、

町は約三百萬圓の財政です吏員は約四百名青森縣位の財政になつて居りますから自治體としては相當のものでせう、市廳舍は鐵筋コンクリートの高莊健築場で只今工事進行中です、經費は寄附を骨子としたものです市街電車はまだありません計畫の路面にはバスが通つてゐます、バスは民營會社の經營です、ビズネスセンターには三井、三菱、安田住友等を初め大小の會社銀行は城の如くいかめしく聳えて居ますまた隨所に高莊な堂々たる邸宅がならんで居ります、

供養燈

（一）

滿壽莊主人

◆まゝよまゝよで半年くらし今年も亦干蘭盆が來ました法の燈の高燈籠に代へて拙き筆に古句あさりして聖靈樣を慰めませうか、

魂祭門の乞食の親とはん　其角

魂祭る門に立ちて物乞小汝も亦人の子ならずやよも腹からの乞食でもあるまい親は如何にせし親の聖魂を迎ふる汝の支度はありやなしや嗚呼世に捨てられ業を失ひ今日の食にも苦しむ汝憐れむべきものなれど一年一度の干蘭盆に歸るに家なき汝が兩親の聖靈こそ最も憐むきものではないか、

魂祭泣くゝ〳〵質を置くとんな　雨柳

戀しき夫の新魂祭かいとし子の魂迎の用意かそはとまれ角まれ質置かでは其用意なし得ぬ憐むべき境遇なかな其境遇のはかなさに泣くか將又質草の別れをしさに泣くか、

迎火を面白かりし　一茶

こともかな

魂だなや手のとどく子の嬉しがり　多代女

佛壇を子供の覗く　素枝

たまつり

いづれもほゝ笑まれつゝ涙する句、

聖靈にとられて仕舞ふ寢床かな　一茶

廣くなもい一茶庵の一間魂棚を飾れば自身の寢る場所がなくなるさりとてかざらぬ譯にもならずはて御先祖樣と一處に寢ませう滑稽中に涙ある一茶の境遇を察せよがし、

油問屋
關内商店
磐城平電話長61●064
支店　郡山市驛前通
電話長八二三
支店　茨城縣水戸驛前
電話長平潟二三
油槽所出張所
平町四丁目
郵便局前

特約販賣
ガソリン
モビール油
日本石油株式會社

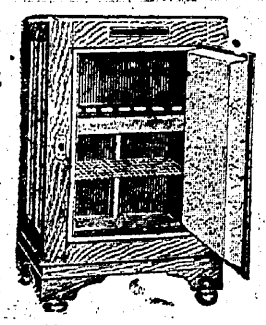
難波醫院
……内科……醫學博士　難波睦
一般
平町大町新川端
（電話五〇二番）

内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
入院應需
平町南町
（電二五八番）

勉強振りを御覽下さいませ
（食堂の一部）

ランチ四品付　五十錢　五品付定食　壹圓
西洋支那料理　ボタン
電話　五七六番

消化不良　胃腸病　頭痛　眩暈　中毒　カタル　吐瀉　下痢　悪阻　悪食　悪酔　宿酔　帶下　婦人病　藥
音響を美しくする
超仁
中常備藥
藥價　三百粒入（並等）二十錢　四百粒入（優等）三十錢　一千粒入（甲）五十錢
東京市淺草區八幡町。
本舗　宮内善造堂
振替東京二四三番
音響を使ふ時は汽車旅行映畫を觀る時煙草を喫む時食前食後にお飲み下さい
地方代理店　平町五丁目
山野邊藥局
特約店を募集す

（本）式の
冷藏器
製造元　丸ほん


！洋酒
『食料品は
平町
新川町の
上總屋へ
ソーダ水用のレラップ
特賣（一升瓶詰三十三度）一圓十錢
◇化粧タイル、販賣並に設計請負
◇タイル、の御相談は當店へ
◇親切第一を、モットーとします

平紺屋町
大谷建材商店　電話三六六

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前（電話六六九番）

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町、電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

◆室の装飾と盆栽の配置
◆數ケ所に備付ける旋風器
◆夏を知らぬ食堂の涼しさ
そしてほがらかな女給のサービス
平驛前（電六二〇）
カフエータヒラ
◇冷たいおビール・ソーダ水
◇特製アイスクリーム